

造形芸術研究科 カリキュラムマップ

【比較芸術学専攻(専攻共通)】

教育理念・目標		造形芸術研究科は、造形芸術の各分野における高度な専門的能力を養成することを目的としています。その上で、建学の理念に則り、沖縄の伝統芸術の技法的特徴や、それらを生成した歴史的・文化的・風土的特性等にも配慮した高度な実技教育を行うとともに、芸術の普遍性の見地から、ひろく東西の美意識に関わる哲学的・美学的・文化的反省に立つ芸術教育を行います。また、沖縄を中心とした南島文化の多様な実態と伝統芸術文化の特色を解明するために、それらを歴史的・理論的に追究する比較芸術学、民族芸術文化学の観点から、汎アジア的広がりにおける東洋芸術文化の学際的な教育を行います。これらの教育活動を通じて、芸術文化に対する深い理解と感性をもち、創造力豊かで、将来の社会における造形芸術分野の幅広い実践活動を担う作家や研究者、芸術教育の専門的指導者となり得る人材の育成を図ります。					
ディプロマ・ポリシー		1. 幅広い視野にたち専門分野における高度な知識と技術を身につけている。	2. 専門分野における高度な研究能力と論理的思考力を身につけている。	3. 専門分野における知識・技術を応用し、社会に発信する能力を身につけている。			
年次	履修区分	授業科目名					
2	必修科目	課題研究Ⅰ	◎	◎	◎		
		課題研究Ⅱ	◎	◎	◎		
1 ~ 2	選択科目	比較美学研究A	◎	◎	◎		
		比較美学研究B	◎	◎	◎		
		比較芸術学特殊研究A	◎	◎	◎		
		比較芸術学特殊研究B	◎	◎	◎		
		日本芸術批評史研究A	◎	◎	◎		
		日本芸術批評史研究B	◎	◎	◎		
		東洋芸術批評史研究A	◎	◎	◎		
		東洋芸術批評史研究B	◎	◎	◎		
		西洋芸術批評史研究A	◎	◎	◎		
		西洋芸術批評史研究B	◎	◎	◎		
		比較工芸史研究	◎	◎	◎		
		民族芸術文化学研究A	◎	◎	◎		
		民族芸術文化学研究B	◎	◎	◎		
		日本芸術文化学研究A	◎	◎	◎		
		日本芸術文化学研究B	◎	◎	◎		
		東洋芸術文化学研究A	◎	◎	◎		
		東洋芸術文化学研究B	◎	◎	◎		
		民族芸術文化史特論	◎	◎	◎		
		芸術学特殊演習A	◎	◎	◎		
		芸術学特殊演習B	◎	◎	◎		
		1		比較美学特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎
		2		比較美学特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎
		1		比較芸術学特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎
		2		比較芸術学特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎
		1		日本美術史特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎
		2		日本美術史特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎
1		東洋美術史特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎		
2		東洋美術史特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎		
1		西洋美術史特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎		
2		西洋美術史特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎		
1		民族芸術文化学特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎		
2		民族芸術文化学特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎		
1		日本芸術文化学特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎		
2		日本芸術文化学特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎		
1		東洋芸術文化学特殊演習Ⅰ	◎	◎	◎		
2		東洋芸術文化学特殊演習Ⅱ	◎	◎	◎		
		民族芸術学特論	◎	◎	◎		
		琉球歌謡論研究A	◎	◎	◎		
		琉球歌謡論研究B	◎	◎	◎		
		比較民俗学研究A	◎	◎	◎		
		比較民俗学研究B	◎	◎	◎		
		東南アジア文化研究A	◎	◎	◎		
		東南アジア文化研究B	◎	◎	◎		
		琉球史特論	◎	◎	◎		

1 2	(比)民族工芸論研究	◎	○	○
	(音)民族舞踊学研究	◎	○	○
	(音)民族音楽学研究	◎	○	○
	(音)琉球音楽論研究	◎	○	○
	(比)東洋工芸史研究	◎	○	○
	(デ)装飾様式論	◎	○	○
	(デ)生活環境デザイン論	◎	○	○
	(デ)産業デザイン論	◎	○	○
	(デ)映像論	◎	○	○
	(デ)舞台美術論	◎	○	○
	(彫)環境芸術演習	◎	○	○
	(染)染課題演習	◎	○	○
	(織)織課題演習	◎	○	○
	(陶)陶磁器課題演習	◎	○	○
	(漆)漆工課題演習	◎	○	○
	(デ)デザイン課題演習	◎	○	○
	(絵)絵画課題演習	◎	○	○
	(彫)彫刻課題演習	◎	○	○

(注)提供専修等

(比)博士課程比較芸術学研究領域, (音)音楽芸術研究科, (デ)デザイン専修, (彫)彫刻専修, (染)工芸専修染研究室, (織)工芸専修織研究室,

(陶)工芸専修陶磁器研究室, (漆)工芸専修漆工研究室, (絵)絵画専修